

JAAF SAGA

2019年度 春季ジュニア記録会要項

1. 主催 一般財団法人 佐賀陸上競技協会
2. 日時 平成31年 4月 6日 (土) 競技開始 9:00 (予定)
3. 場所 **国見台陸上競技場** 佐賀県伊万里市二里町大里甲 (TEL 0955-23-2632)
4. 種目
 - 高校男子 100m、5000m、110mJH、400mH、4×100mR 走幅跳
砲丸投、円盤投、やり投
 - 高校女子 100m、3000m、100mYH、400mH、4×100mR 走幅跳
砲丸投、やり投
 - 中学男子 100m、3000m、110mYH、4×100mR、走幅跳、
砲丸投、円盤投
 - 中学女子 100m、1500m、100mJH、4×100mR、走幅跳、砲丸投
 - ☆中学・高校共通 (男子) 400m、800m、三段跳、棒高跳、**走高跳**
 - ☆中学・高校共通 (女子) 400m、800m、三段跳、棒高跳、円盤投、**走高跳**
5. 参加料 **・1種目 700円 ・リレー: 1300円**
6. ナンバーカード 平成30年度登録番号を使用すること。必ず、高体連、中体連へ登録を済ませて申込をすること。
1年生については卒業生のナンバーカードを使って対応して下さい。数が足りない場合は荒木まで連絡下さい。
7. 参加申込み 参加申込書を下記ホームページよりダウンロードし、入力マニュアルにしたがって、入力する。
佐賀陸上競技協会ホームページ URL ⇒ <http://www.sagarikujyo.jp/>
 - ① 申込ファイル (CSVファイル) をメールする。
【申込先】 E-mail アドレス : keitoku_araki@yahoo.co.jp
 - ② 作成した申込一覧表をプリントアウトし、捺印したものを下記住所まで郵送する。
※ PDFファイルでの申込みはできません。
【住所】 〒848-0027 伊万里市立花町86番地 敬徳高等学校 荒木 宏文 宛
(封筒に「記録会申込書在中」と記載し、赤枠で囲むこと。)
8. 申込締切 平成31年3月8日 (金曜日) 必着のこと
9. 問い合わせ先 敬徳高等学校内 荒木 宏文 宛 (学校: 0955-22-6191 携帯: 090-8838-8480)
10. その他
 - ① 申し込みは、正確に入力し、**メールと郵送の両方**で申し込んでください。
 - ② 申込書は、必ず 2019年度春季ジュニア記録会用のファイルをダウンロードして下さい。
※以前使用した春季ジュニア記録会等の申し込みファイルは使用しないで下さい
 - ③ 記録会の出場に際しては事前に健康診断を受けておいてください。記録会で生じた事故について応急処置は行いますが、それ以後は各人の責任で行ってください。
 - ④ 記録会がスムーズに運営できるよう出場校は審判員1名以上、補助員2名を必ず出してください。
 - ⑤ 申し込みの際に生じた個人情報については、この記録会以外には使用しません。
 - ⑥ タイムテーブル・役員一覧・諸連絡を佐賀陸協 HP に掲載します。必ず確認してください。
 - ⑦ 参加料については、当日受付時での納入です。釣り銭がないように準備してください。

11. 競技会運営に関する確認事項

ジュニア記録会の競技会運営方法について、従来型（選手権方式）の方法から、記録会方式へ変更し、時間の短縮と業務のスリム化を図りたいと考えます。

各学校におかれましては、下記の点について、関係職員並びに出場生徒への周知徹底をお願いいたします。

【参加校引率の先生方へお願い】

本競技会については参加校の引率の先生方を中心に役員（審判）割りをしております。各校の先生方におかれましては、役員一覧をご確認していただき、ご協力のほどお願いいたします。なお、以下の点についてご一読お願いいたします。

1. 出発方法について

トラック種目において、スタート前に行うスタート練習や流しを行わないものとする。

【短距離系種目の出発方法】

- ・スターティングブロックの設置後、すぐにスタート体勢に入り、速やかにレースを出発させる。

【リレーの出発方法】

- ・第1 走者は短距離系種目の方法と同様とします。
- ・第2～4 走者は、スタートマークを付けたら、直ちにスタート位置につくこと。
- ・4×100mR のマーク設定後のダッシュ等の練習は行わない。
- ・出場校はレーンを確実に確認してレースに臨むこと。

※スターティングブロックを使用しての練習は、ウォーミングアップで十分に行い、レースに臨むよう、各学校においてご指導をお願いします。

※トラックレース中であっても、レースに支障がない限り、空きスペース（トラックのアウトレーン等）での練習を許可する。

【中・長距離種目の出発方法】

- ・前レースが終了したら直ちに、スタートする。

※トラックレース中であっても、レースに支障がない限り、空きスペース（トラックのアウトレーン等）での練習を許可する。

【スターターの目安】

- ・1レース時間の目安を以下の通りとする。

100m	1'30"以内
200m	2'00"以内
400m	3'00 以内
800m	4'00 以内
1500m	7'00 以内
3000m	15'00"以内
5000m	20'00"以内
ハードル設営・撤去	5'00 以内

2. ラウンドについて

記録会につき、決勝ラウンドは実施しない。

3. 試技数

跳躍競技、投擲競技については、試技を3回とし、ベスト8での試技は行わない。

4. 招集方法

【トラック種目】

- ・招集所で腰ナンバーカードを受け取り、現地において最終コールを行う。

【跳躍、投擲種目】

- ・フィールド競技：招集所で招集を受け、現地で確認を受けること。

※2種目同時に競技が行われる競技者については、はじめの競技招集時に必ず招集所に申し出をして、次の競技の招集も受けるように徹底させること。

5. ハードルの設置等の競技の準備

レース中であっても、競技に支障がない限り、ハードル等の設置を行い、時間的短縮を図る。

- ・400mH の設営については前レース中にハードルを準備できる態勢をとっておく。

ハードルの高さは、中学生男子(110mYH)は91.4cm、中学生女子(100mJH)は76.2cmとする。

高校生男子(110mJH)は99.1cm、高校生女子(100mYH)は76.2cm

6. 結果の表示

競技結果についてのアナウンスは行わない。

すべて掲示により結果発表を行うこととする。

各競技のレース及び試技結果をソートし、順位付けしたものを掲示発表する。

7. 走高跳のバーの高さについて

共通男子は1m30cm、共通女子は1m15cm から競技を開始する。

三段跳の踏切板は、共通男子11m、共通女子10mとする。

8. ウォーミングアップについて

レース中であっても、競技に支障がない限り、バックストレート等を利用してウォーミングアップを許可する。

その際は棒高跳の競技に支障が出ないように配慮する。

9. その他

記録会方式による業務のスリム化によって、競技役員負担を軽減したいと考えております。新たな運営方法で、競技進行に戸惑うこともあるかと思いますが、趣旨ご理解の上、出場校並びに競技役員、出場選手の御協力をお願いします。